

組合
共同
協業
日本
工業

技術を進化させ、 力を発揮へ

研修会を開催

日本リ・ソイル工業
協同組合（仙台市、熊
木繁雄理事長）は昨年
12月16日、都内で研修
会を開催した。研修会
では各会員企業がそれ
ぞれの取り組みを報告
した。

熊木理事長は「近年
研究開発からはじまっ
た案件が、採算が取れ
るようになり、多くの
ビジネスとして成立し
てきている。近々では
関東周辺のリニアや再
開発案件など、出番は
多くある。今後さら
に技術を進化させ、多
くの工事などにわれわ
れの技術力を発揮して
いきたい」とあいさつ
した。

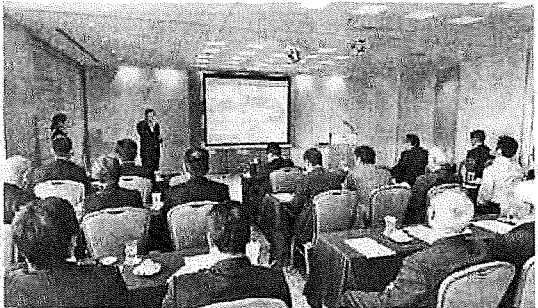
東北ターボ工業（盛
岡市）からは、岩手県
の施工実績として、ユ
ニ・ソイルを農業用ハ



熊木繁雄理事長

ウスのたたきとして販
売、施工した件につい
て報告。ユニ・ソイル
を施工した現場は先に
起きた東北での台風の
際に被害を免れたこと
などについて説明し
た。栃木アンカー工業
（栃木県栃木市）から
は、栃木県の施工実績
を報告。ユニ・ソイル
を防草材として河川防
天端に使用した現場で
は台風による増水が越
水した際にも河川砂利

多くの会員企業が成果を報告



の提体を流出させた
が、ユニ・ソイルが流
れずに残っていたこと
を説明することで、県
の防災担当者などから
理解が得られたことな

どが説明され
た。また、環境
技術（青森県八
戸市）の澤井勉
氏は、RC40と
CS40および造
粒固化土（ユニ
・ソイル）の混
合による埋め戻
し材・路盤材の
開発などについ
て報告した。C
S40については
コンクリート用
骨材、路盤とし
ての使用が進んでお
り、消波ブロックなど
にも使用されているこ
とを紹介した他、すで
に大学との共同研究も
開始しているという。